

## ■第3回協議会意見を踏まえた見直し方針

第3回協議会意見				事務局回答	地域公共交通計画（素案）作成に向けた見直し方針	
No	発言者	項目	内容		頁	
1	大分大学 大井委員	基本方針	・基本方針の並べ方が適切でない。市外とのネットワーク確保が上位にあるが、これでは市外交通優先であるという印象を与えかねない。課題の最優先が市内交通であることも、部分的かもしれないけどかみ合わない。方針2を1番目に、方針3を2番目に、市外ネットワークは4番目に下げるべきと考える。	・上から優先というイメージで並べてはいなかったが、与える印象を考慮して並べ方を検討する。	32	・網計画では、階層に合わせた方がわかりやすいとのことで、現在の並びになっている。 ・事業の優先性を考慮し、基本方針の順番を変更した。
2	九州産業大学：稲永会長	基本方針・基本目標	・基本目標と基本方針とのつながりが見えにくいので、どうつながっているのかを明示した方がいいし、そうすると、指標の要る要らないがはっきりしてくると思う。	・次の原案を示す段階で関連性を明確に示したいと思う。	37～ 40	・基本方針と基本目標の対応を整理し、4つの基本目標を再設定した。 ・また、基本目標と施策を一对一で対応させることで、基本方針、基本目標、施策のつながりを明確にした。
3	大分大学 大井委員	基本方針・基本目標	・基本目標と基本方針の関連性が希薄で、「利用の増加」というのは漠然としすぎ。どのような利用を増やすのかを書くべきではないか。例えば、市民一人一人の利用回数の増加など。			
4	九州産業大学：稲永会長	基本方針・施策	・基本方針と施策のつながりが見えてくるとよい。			
5	九州運輸局福岡運輸支局 傳委員代理（井料氏）	施策毎の評価指標	・網形成計画では施策に対する評価指標が書かれていた。今後、施策が固まったら、そこの設定をしていただければと思う。	・評価はやっていく。	38～ 39	・基本目標と施策は一对一で対応させている。 ・施策と対応した基本目標毎に評価指標を設定した。
6	公募市民 久池井委員	公共交通ネットワークの将来イメージ	・九州道の件については、日常的な公共交通として高速バスを使っている方がいるのであれば入れてもいいけど、使っている方があまりいなければ、公共交通ネットワークに入れることは現実的ではないと思う。	・利用状況を確認しながら、事務局の方で検討の上、案を示せてもらう。	34	・高速バスの利用状況を西日本鉄道株式会社様に確認した結果は、以下のとおり。 高速バス運行本数：22便/日 青柳バス停利用者数：10人/日、0.4人/便 ＜参考＞薦野系統筵内経由：2.9人/便 ・本協議会で、公共交通ネットワークへの追加について再度協議させていただき、計画（素案）に反映する。
7	花鶴タクシー(有) 保井委員	公共交通ネットワークの将来イメージ	・高速バスの青柳停留所については、西鉄バスのルート変更でまかなえると思う。高速で降りる方は少ないと思う。			
8	大分大学 大井委員	公共交通ネットワークの将来イメージ	・高速バスの青柳バス停はもっと使い方を考えるべきで、ネットワークに入れるべきと考える。			
9	公募市民 久池井委員	公共交通ネットワークの将来イメージ	・薦野から筵内を経由して東医療センターに行くルートについて、現時点では見直しをしないけど、市としては将来的に作りたいたいと考えているのか。	・米多比から東医療センターに向かっている路線については、4月時点での見直しは行わないものの、計画としてはこの図のように進めていきたい。	34	・協議会での回答どおり、変更なし。
10	花鶴タクシー(有) 保井委員	公共交通の役割	・西鉄バスやシャトルバスなど色々走らせているが、高齢者の移動のための運行なのか、通勤・通学者の移動のための運行なのか、すべてをまかなう形なのか、市としての考え方を整理してもらいたい。	・運転手の休憩時間の関係で、夜間の運行が厳しくなると認識している。ニーズを見極めながら、路線バスで運行する時間帯や、シャトルバスでの運行、補完交通でカバーする運行など、次の再編へつなげていく形でまずはこの計画を策定したいと考えている。	36	・交通モード毎に「役割」の中で、利用者、利用目的を整理している。 ・路線バスについては、系統ごとに「役割」を再整理した。
11	九州運輸局福岡運輸支局 傳委員代理（井料氏）	公共交通の役割	・幹線交通、支線交通、補完交通の役割を書かれているが、他の自治体の例では、より具体的にこの系統はこの地域にどう必要であるのかを書かれている。ここに書かれている内容だと抽象的に見えるので、地域に沿った形で記載されたいと思った。	・原案作成の際に反映していく。		
12	大分大学 大井委員	事業1-1：現行路線の見直し ①西鉄バス古賀市内線・コガバスの一体的な見直し	・舞の里イオンは、赤間急行線があるのでその利用を促進すべき。全盛期に比べて減便を余儀なくされている。定住促進策と一体として考えることも言及した方がいい。	・計画にどう記載するかは再度検討する	42	・「舞の里～イオンモール福津」については、福津市の意向（福津市からサンリブへのニーズあり）も踏まえ、＜系統別の見直しの方向性（案）＞の中に、「舞の里系統：イオンモール福津（福津市）への延伸又は赤間急行福岡線との接続を検討する。」と記載させていただいた。

第3回協議会意見				事務局回答	地域公共交通計画（素案）作成に向けた見直し方針	
No	発言者	項目	内容		頁	
13	(株)古賀タクシー 後藤委員	事業1-2_対応する移動ニーズの拡大	・新たに商業施設ができると人の移動が発生するので、そういう所も終点としてしておく必要がある。	・目的地となる場所は、開発計画も含めて検討していく。 ・計画期間内で対応できる部分は反映する。	42	・庁内関係課ヒアリングで開発計画等について意見をうかがい、計画（素案）に以下の内容を記載した。（最後の段落） さらに、新たな土地利用転換が図られるところは、庁内関係課と調整しながら、移動手段確保の必要性について検討を行います。
14	公募市民 飯尾委員	事業1-2：対応する移動ニーズの拡大	・オンデマンドバスについて、古賀市での計画はないのか。	・オンデマンドバスについては、古賀市でも去年から一部地域で運行している。現在の活用状況やエリアの拡充も含めて公共交通計画に反映させたいと考えている。 【稲永会長】 ・この会議で5年間の計画を決めて以降、何も変えないということではなく、毎年見直しをしながら進めていくものになる。	43	・のるーと古賀（AIオンデマンドバス）については、以下の取組みを計画（素案）に記載した。 利用状況に応じた運行サービスの見直し 他地域への導入検討運行エリア拡充の検討
15	花鶴タクシー(有) 保井委員	事業1-3：運転手の確保	・ウーバーが前向きにとらえられているが、現状では運転手は少なく、募集しても集まらない状況にある。3年間のコロナ禍の中、タクシー会社としても精一杯やっている。	・ライドシェアの関係ではなく、路線バス・タクシー運転手の募集を市の広報と連携していきたいということで記載している。	44	・タクシー事業者ヒアリングで意見をうかがい、以下の取組みを計画（素案）に記載した。 古賀市無料職業紹介所を通じた就労支援 運転手の魅力的な働き方を紹介する広報作成、情報発信 二種免許取得の支援制度検討
16	(一社)福岡市タクシー協会 富原委員	事業1-3：運転手の確保	・1/17に天神の地下街でチラシを配布しPR不足を解消しようと思っている。古賀市の市民の中からバスやタクシーの乗務員が増えることは大歓迎。協会や事業者とタイアップしていければと思う。			
17	公募市民 飯尾委員		・ライドシェアについて、古賀市での計画はないのか。	【稲永会長】 ・今回の計画に「ライドシェア」という具体的なキーワードは含まれていないが、国の方針が明確になってない今のタイミングで記載することは望ましくない考える。国の方針が定まってから議論をはじめればよいと思う。	-	・ライドシェアについては、計画に記載しない。